

「ライティング技術の除雪作業の効率化に寄与する技術」の性能評価項目と試験方法

性能種別	性能評価項目		性能評価指標	要求水準	性能評価	試験方法・条件	備考	
	項目	内容						
基本性能	A-1	電源	ライティング機器の電源	既存の除雪車両から供給できる電源で動作可能である	—	—	応募時の申請書類等及び現場試験時にて確認する	
	A-2	定格寿命	ランプの定格寿命	連続点灯時のランプの平均寿命	—	—	応募時の申請書類等にて確認する	
	A-3	使用環境温度	ライティング機器の使用環境温度	除雪車両の使用環境温度で正常に動作する性能を有する	-30℃以下	—	要求水準の範囲内の使用環境温度で正常に動作する性能を有していることが確認できる根拠資料の提示をもって、事前に確認する	
	A-4	防じん性能	ライティング機器の防じん性能	除雪車両の使用環境下で正常に動作する防じん性能を有する	JIS防じん保護等級6級 (IP6X)	—	JIS D0207に準拠した試験法等により要求水準以上の防じん性能を有していることが確認できる根拠資料の提示をもって、事前に確認する	粉じんが機器内部に侵入しないこと
	A-5	防水性能	ライティング機器の防水性能	除雪車両の使用環境下で正常に動作する防水性能を有する	JIS防水保護等級7級 (IPX7)	—	JIS C0920に準拠した試験法等により要求水準以上の防水性能を有していることが確認できる根拠資料の提示をもって、事前に確認する	水深1mの水槽に機器を30分間没し、浸水がないこと
	A-6	耐振動性能	ライティング機器の耐振動性能	除雪車両の使用環境下で正常に動作する耐振動性能を有する	—	—	JIS D1601に準拠した試験法等により耐振動性能の根拠資料の提示をもって、事前に確認する	
視認性	B-1	描画性能	ライティングによる色、形状、点滅等の描画性能	描画性能(色、形状、点滅等)を有する	静的に環境照度と識別可能な照度を有した描画であること	—	<ul style="list-style-type: none"> 除雪車両にライティング機器を設置し、現場にて以下のB2～B3について描画の違いによる視認性(見易さ)を確認する 試験場所: 厚田除雪ステーション構内を予定 	
	B-2	後続車両による視認性	暴風雪等の視界不良時における後続車両からの除雪車両の視認性	暴風雪等の視界不良時で除雪車両の存在を後続車両に認識させることができる	後続車両からの視認性が向上し安全性が向上すること	視認性が高いほうが高性能	<ul style="list-style-type: none"> [夏期試験] ライティング機器の照度等を各社で計測確認する(計測条件等は別途定める) [冬期試験] 現場にて暴風雪等の視界不良時の視認性(見易さ)を確認する 視界不良時の条件は昼間・夜間の暴風雪を想定している。なお、昼夜間の無吹雪時においても視認性(見易さ)及び照度計測等を確認する 試験場所: 厚田除雪ステーション構内を予定 ライティングによる描画について対向車線及び、歩道からの見え方を確認する 	現場試験時の気象状況により視界不良時の条件は変更する場合もある
経済性	C-1	製品費用	ライティング機器本体、付属品の費用	除雪車両1台当たりのライティング機器本体、付属品の費用	—	—	応募時の申請書類等にて確認する	
	C-2	設置費用	ライティング機器の除雪車両への設置費用	除雪車両1台当たりへのライティング機器の設置費用	—	—	応募時の申請書類等にて確認する	
その他	D-1	対向車両及び歩行者への影響	ライティングによる対向車両及び歩行者への影響	ライティングによる直射光又は反射光が、対向車両及び歩行者への通行を阻害しないこと	対向車両及び歩行者への通行を阻害しないこと	—	<ul style="list-style-type: none"> [冬期試験] 現場にて対向車及び歩行者からの影響を確認する 	

※記載にない性能については、現場での必要に応じて、求める性能の内容・程度を判断する。